

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年7月12日のビデオメッセージ（要約）>

40年前、救世軍士官（伝道者）の任官式がミズーリ州カンザスシティの会場に1万人が集って行われました。士官学校（神学校）の「救いの宣言者」の学年の候補生たちが士官に任官され、その中に私と妻もいました。そこにはキリストの生きた臨在がありました。それから長い年月が経ちましたが、私たちにとって今でもそれは山の頂上の経験でした。ルカによる福音書9章を見ると、イエス様がペトロ、ヤコブ、ヨハネを連れて高い山に行かれた様子が記されています。聖書学者は、その山はヘルモン山かタボル山であっただろうとしています。その山頂で、イエス様が栄光の姿に変わるのを、三人の弟子は目撃しました。そこにはモーセとエリヤも現れました。感激したペトロは「記念の小屋をここに三つ建てましょう！」と言いました。イエス様は父なる神のもとに戻られる前に、栄光の姿を現わしてくださいましたが、イエスを信じるわたしたちも、世の終わりの日、同じように栄光の姿に変えられる、と聖書は約束しています。もっと素晴らしいことは、父なる神の声を、三人の弟子たちが聞いたことです。今日わたしたちも、父なる神の声を聞く必要があります。詩編19編をお読みしますが、どうぞ目を閉じて、詩編の言葉に耳を傾けてください。あなたの人生でどんなことが起きようと、父なる神の声は、あなたを癒し、励まし、力づけることができます。「主の御声は力をもって響き、主の御声は輝きをもって響く…どうか主が民に、力をお与えになるように。主が民を祝福して、平和をお与えになるように。」山頂に立つのは素晴らしい経験です。しかし、いま、あなたがどこにいても、そこに主の臨在があり、あなたは霊的な山頂を経験することができます。どうか、霊の目を開いて、神に感謝し、神の栄光を賛美してください。また、神の栄光を周囲の人々に分かち合ってください。三人の弟子たちは、イエス様と共に山の上から下界にくだりました。あなたもイエス様と共に、世界の中へと入って行っていただきたいのです。